



亀山市名誉市民

彫刻家  
**中村 晋也**  
Shinya Nakamura

作品介绍

ふるさとあい  
Vol. 119

## 「無言の行」

令和8(2026)年

何の変哲もない小さな頭像。それなのに一度見たら忘れられない面立ち。感情を抑えて、ひたすら修行に勤しむ若き修行僧を表現したこの作品は、中村が長年取り組んでいた奈良薬師寺「釈迦八相像」の副産物といえる作品です。煩惱に支配された俗世間に生きる我々を、諷めるでもなく、あざ笑うでもなく、ただそこに黙々と存在して、静かなエネルギーを放出しています。

この頭像は、今年3月に国立新美術館(東京・六本木)で開催された「第102回白日会展」に出品されました。



(高さ) 18.3cm × (幅) 10.8cm × (奥行) 11.8cm  
中村晋也美術館

特別協力 公益財団法人 中村晋也美術館

<https://www.ne.jp/asahi/musee/nakamura/>



まちかど  
キラリ

原嶋 凜さん  
(東京都在住)



平成19年生まれ。亀山市出身。幼少期、芦田愛菜さんに憧れを抱き養成所へ入所。三重県を拠点に舞台やドラマに出演。高校入学を機に本格的に芸能活動を始めるため上京。令和8年度前期のNHK連続テレビ小説「風、薫る」のオーディションで演技力が認められ、工藤トメ役(レギュラー)に抜েকে。「風、薫る」は3月30日から放送中。

## 幼い頃の夢を叶えるために、今の私がいる

「中部中学校の裏門に伸びる坂道を、自転車を勢いよく押して登ったり、息を切らしながら登ったりして通ったのが亀山で過ごしたときの思い出です。亀山は坂が多く、東京でこんな急な坂はあまり見たことがありません」と原嶋さん。中学時代は卓球部に所属し、部員が多くて卓球台が使えず、屋内練習や外周を走ることも多かったそうですが、みんな仲が良く、温かい雰囲気の一部活動だったと振り返ります。

芸能の世界を目指したのは3歳。芸能の仕事に憧れ、当時、名古屋に新しくできた養成所へ入所。小学1~3年生のとき、舞台「女の一生(文学座)」の旅公演で全国を巡り、「台本にないアドリブを褒めてもらったことが刺激的で、ずっとお芝居をしていきたいと思いました。これが私の転機です」と話します。NHK大河ドラマ「いだてん」では主演女優の幼少期役を演じ、「思うように演技ができず悔しかった

けれど、それが次への大きな学びになりました」と続けます。高校進学を機に上京。本格的な芸能活動をサポートしてくれる家族への感謝を胸に、「小さい頃の夢を自分で叶えるため、日々稽古を頑張っています」とあどけない表情で語ります。

現在、NHK連続テレビ小説「風、薫る」で、看護婦養成所のムードメーカー・工藤トメ役を、英会話で鍛えたりスイング力を生かした津軽弁で熱演中。「女性が社会で活躍する姿をぜひ見てほしいです」と原嶋さん。皆さんも、ぜひご視聴ください♪



【写真提供】Tanpopo合同会社